

## 平成22年度 第5回 北広島市環境審議会 議事概要

- 1 日 時 平成22年12月15日(水)午後6時～
- 2 場 所 市役所 本庁舎 2階会議室
- 3 出席者 委 員：五十嵐恒夫会長・村野紀雄委員・上田純治委員  
澤田美恵子委員・山北雅宏委員・佐藤清一委員  
・長谷川眞知子委員  
北広島市：小西課長、柳主査、平澤主査、高橋主事
- 4 配布資料 (事前配布)  
○ 議案書
- 5 会議内容

【事務局：資料1について説明】

(委員) 1ページ目の中ほどに、「オゾン層の破壊のように」という部分があるが、必要ないのでは。

(会長) ここは具体的に一定の取り組みが進みつつあるというところを言いたのだと思う。オゾン層破壊の問題については一定の取り組みをやってきて、それなりの成果は上げてきていると思うので、そこを強調したい文章だろうと思うが、全体的なバランスを考えちょっと検討願いたい。

(委員) 温暖化の取り組みが始まりつつあるとなっているが、もう取り組みは始まっている。文章表現としてはどうなのかなと思ったのだが。

(事務局) 表現を検討する。

(委員) 「本格化するべくクローズアップされています」という表現は、よそ事みたいな感じがする。「北広島として必要」というような主体性のある表現にすべき。

(会長) 表現を工夫していただきたい。

(委員) 土地利用のところで土地の地目別面積挙げているが、単位を最初のヘクタールに合わせて全部ヘクタールに統一すべきと思う。人口の問題については、男女比がわかればいいかなと思う。あと概況は、もう少し北広島の置かれた位置的な素晴らしさとか、特徴がもう少し出せたらいいかなと思う。

(事務局) 検討する。

(委員) 環境づくりを支える主体の意味は要するに人のこと。北広島の環境を支えるのは市民だけではなく、旅行者なども含めての人だと思う。

(事務局) 旅行者なども主体となると思うが、単純化して、基本的には住んでいる人でまずは考える、ということでこのような形をとっている。

(委員) 北広島を訪ねる来訪者も、この計画指針に沿って、主体として動いてもらうという働きかけもあってしかるべきだと思う。

(事務局) ここの言いたいのは、環境問題に取り組むに当たって、行政だけでは限界があることから。市民、企業と役割を互いに果たし、一緒にやっという意味合いだ。もう少し考える。

(委員) 気象の(2)のところだが、気温は下に載っているが、雨や雪の降雪量・降雨量等々も入れたらどうか。

(事務局) 私どもの北広島市にアメダスがない。全部差し替えて恵庭・島松のデータにすることもできる。

(会長) 気象のデータは馬鈴薯原原種農場が持っているのでは。

(事務局) もう少し載せられるデータがないか照会し、あれば追加したい。

・事務局から資料2(計画の推進)について説明

(委員) 北広島市環境検討委員会はだれが委員になっているのか。  
たとえば市長の指名とか、あるいは各部からの代表からとかか。

(事務局) 基本的には環境施策にこの計画の中に関連する課の課長。環境部長、市民環境部長、あともちろん環境課長も入っている。

(委員) 要綱みたいなものがあるのか。行政組織の中に。

(事務局) 規則がある。

(委員) 市民意見の聴取とその反映に努めますというところだが、どういうふうに聴取するのか具体的なものを入れておいた方がいい。

・事務局から資料5・3・4（めざす環境の姿、目標、前回会議での修正部分）について説明

（委員）環境都市というのは非常にあいまいな目標。環境都市という言葉はヨーロッパからきており、きちんとしたイメージがある。その辺を踏まえてこういうことを目指すのだという記述があればいい。未来に続く環境都市とは何だと言われた時に答えられるような記述が必要。具体的な定義があるはず。

（委員）今の意見にすごく賛成だ。市民にわかるようして、もう少し何かつけた方がいい。環境都市は、「住みやすい」というのはまずひとつあると思うが、暮らしやすい、環境のよい都市というようなキャッチフレーズがいいのではと感じた。市民が本当に暮らしやすい、北広島に住んでよかったと思えるような環境のいい都市というイメージで。

（委員）ゴミとかバイオガスはデンマークがすごく進んでいる。森林なんかの間伐材も市民が燃料として利用している。環境の負荷をやわらげて化石燃料を使わない。それから、おそらく交通の方は50年後には電気自動車になっている。本当に住みやすいところ、50年後にこんな住みやすいまちになっているというイメージが市民に伝わるといいと思う。

（委員）「暮らしやすいまち」が入っているといい。

（事務局）また検討する。

（委員）3番目の自然と快適環境、人とみどりと多様な生物の共存というところだが、「人と」を入れて直してよかったと思うが、人とみどりと生物多様性というのはあまりよくないと感じる。

（会長）ここのところは前回問題になった時は、「川」のことを何か表現すべきでないかという意見が出て、事務局が文章の1行目の真ん中あたりに緑や「水」という言い方をしたと説明があったが。

（事務局）「緑」のところをたとえば「自然」にするのはどうか。

（会長）全部表現するとすれば自然ということになるのかもしれないが、それでは漠然としすぎではないか。

（委員）自然というと漠然として、全て入って対象を捉え難くなる感じがあり、自然

の方が正解かもしれないが、もう少し具体的なものを取り上げ、緑と多様な生物の方が、人と自然よりはいいという気がする。

(委員) 自然は、見出しで入っている。「緑」という言葉は使いたい。

(委員) 私は「生き物」も使いたい。

(会長) 特に異論がなければ原案通りということでどうか。

(委員) 5番目の方は環境教育支援活動となっているが、学習ではないか。

(事務局) 修正する。

(委員) 公害が発生している事実は今までにあるか。

(事務局) 今は解消されたが過去臭いの問題があった。養鶏場の悪臭。

(委員) それ以外は。

(事務局) 以外は、工場などの騒音だとか振動だとか、いろいろな苦情等はある。

(委員) そうするとこの「少ない」が気になる。割り切って「ない」のままの方がよかったのかと思う。

(委員) 「ない」がよいと思う。

(会長) ゴルフ場から出てくる農薬についてはかなり厳しく規制されているのでそれを守っていれば今のところはあまり心配ないかと感じている。ただ当然チェック体制はきちんとやってかなければいけない。

鶏事業所の方は糞を堆肥化しようというところまで手を伸ばしたが、とても処理がつかなくて、堆肥化するのは諦め、千歳などの農家が生のまま買い取って持っている。そのために臭いが非常に少なくなった。しかしまだ皆無ではない。風向きによっては私の家でも臭うことがある。

(委員) 公害のないまちにしたい。

(会長) 確か原案は「公害のないまち」だった。それを議論した時に公害がないまちはあり得ないということで、「少ない」という表現に変えた。今、「ない」まちの方がいいという意見が出たがどうするか。

(委員) 「少ない」だとあってもいいことになるので、「ない」まちにした方がいいと思う。

(会長) いくらかでも公害があるとすれば、それはゼロにすべきだから、やはりここは「少ない」ではなくて、「ない」がいいだろうと思うがどうか。

(委員) 次の2番の循環型社会のところも”ゴミの少ない、ものや資源を大切に使うまち”だが、「少ない」を取ってゴミを出さないまちを作っていくというのはどうか。

(会長) それは難しい。

(委員) 基本的には無理だろう。現状では。

(委員) 生活環境の中の分野の、「健康を著しく損なうような公害問題は見られなくなったものの、有害物質等の新たな問題も発生しており」という書き方がどうなのだろうかと思うのだが。

(委員) 新たな問題は北広島で発生しているのか。

(事務局) こちらは一般論として書いている。

(委員) これは誤解を招く。北広島市の環境基本計画の前面にこれが出ていると。ここの表現は、こういう問題は北広島でも起こり得るので、今後の様々なことに対して十分な注意を払って・・・と文章をつなげるといいと思う。

(会長) 「有害化学物質等の新たな問題も発生しており」、というのは、北広島になれば削除すべき。

(委員) 3番目のところ、「人とみどり」は平仮名になっているが、その下の説明の緑は漢字になっている。漢字を使った方がすっきりするのでは。

(委員) 平仮名にすると、やわらかくなるのと一緒に範囲が広がるような感じがする。イメージとしてだが。

(会長) これはこれでいいような気もするが、事務局は相当頭使ってこの表現にしたと思う。今のこの表題のところを「公害の少ないまち」から「公害のないまち」と変更するということで、あとの文章もそれと齟齬のないよう修正してほしい。

(委員) 「低周波音等の新たな問題」とあるが、北広島でそういう問題はありますか。

(事務局) 北広島ではない。各分野での取り組みについては、最初の文章には一般的なことを書き、その下の現状と課題から北広島のことを書くような形で全分野統一している。こちらのところは日本全体の状況などを書いている。

(委員) 一般的な表現ということならば、「全国的には」などの語句をどこかに入れると北広島ではないと読み取れてよいと思う。

(会長) その方がいい。

(委員) 自然環境のところの表現だが、「生物多様性基本法が制定され」という言葉を入れたということで、生物多様性の保全についての配慮は出てきているが、その次の「地方自治体にも一定の役割を担うことが求められる」はよくない。再三言うようだが、主体性を持った北広島の表現がほしい。ここは一定の役割じゃなくて市として生物多様性の保全に取り組んでいく必要がありますなど、もっと主体性を持たせたいと思う。

(事務局) こちらの方も先ほどと同じく一般的な状況ということで書いているところだが、検討したい。

(委員) ゴルフ場の森林はすごく重要だ。いろいろな希少な植物がある。言葉だけが挙げられてよかったと思っている。

野生生物の表現だが、その後の調査がないため状況の変化は把握できてない状況だ、という文は、平成12年度の調査によるとこの通りのものが確認されている、くらいにしてはどうか。植物は何種という言葉だけでいい。そして希少な動植物としては何々など、それから外来種としては何々などが挙げられている、などという形で収めてはどうか。大雑把でもいいので、そのように直すとどうか。

(会長) 平成12年の調査はコンサルで実施したのか。

(事務局) そのとおり。

(会長) 市民を上手く巻き込んでやってもらうとか、そういうやり方も当然考えられると思う。私は事務局がこれを書いたということはやる気だなと思って受け止めていた。

(委員) 次に、自然とのふれあいのところだが、これは重要。ここに述べられているそのふれあいの場として強調されているのが野幌森林公園とレクリエーションの森。まあこれは致し方ないと思うが、その他に様々な公園がある。街の中の公園、素晴らしい公園を、それを取り上げたらいいと思う。

道立自然公園・野幌森林公園の北広島に所属するところはほんの一部で、それもほ

とんどが国有林。自然をそんなに観察できる場所ではない。もし表現するとしたらと、西の里の国有林、西の里には江別市から続く道立自然公園野幌森林公園がある他、市中心部に市が国有林の一部を借り受けた北広島レクリエーションの森があり、市民の自然とのふれあいの場となっている、などと表現した方がいいかと思う。

(委員) 三島にキャンプ場がある。ここに入れておいたらいいと思う。

(委員) 課題の部分だが「市内に生息する動植物の情報を継続的に収集し蓄積することが望まれます」とあるが、ここだけ望まれますとなっており、第三者的で他人事のような。取り組みの方針は非常に前向きで評価する。ただ地域の動植物との共存で、「貴重な動植物を保護するための情報を収集するとともに適切な対応策を検討します」、はいいが、もっと大事なのは地域の生態系保全。そういうことをもっと全面に出すと評価されると思う。

(事務局) 修正する。

(会長) 街路樹の整備を記述したのは大変いいと思う。この審議会でも自主研修をやったが、特に団地の中の街路樹が、半分くらいはいわゆる並木としての魅力が全く発揮できないような管理の仕方がされていて、非常に問題だと思うので、緑のまちづくり審議会の方に問題提起をしてほしいと思う。  
その後市政懇談会なんかに出て発言したが、どうも担当部長は問題意識を持っていないのが寂しい状況だなと思っている。

(委員) 街路樹のことで、課題の中頃に「市街地の緑については経年的な理由などから再整備が望まれるものも散見されます」とあるが、意味が理解できない。

(事務局) 単純に古くなって手当てされない状況を書いた。現況を書いて、課題を書いて、施策を書くということで、全部書くとかなり重複してしまうところがあり、課題のところは少し圧縮した。

(委員) 街路樹や緑地の樹木の管理上の問題だと思うが、はっきり書くべき。

(会長) 表現をもう少しわかりやすく。問題のありかをきちっと指摘していただく方がいい。

(委員) 花のまちコンクールというところについてだが、花いっぱい運動を今までやっているが、それを入れほしい。

(事務局) 市民活動の推進と協働というような項目の中で、地域の自主的な緑化開発を支援するために基金から花や木の苗を町内会に配布をしていると、簡単だが載せ

ている。

(委員) 市民や事業者の行動指針だが、多少の数値目標を入れて出してはどうかと思う。ゴミの減量では一人一年間でこのくらい出さない、減量しようとか。

(事務局) 温室効果ガスの削減目標、それから一人あたりのゴミの排出量、こういったことはこの後に個別計画削減目標が改めて示されることとなる。

(委員) たとえば食用油の回収など、どのように使われているかということをもっと詳しく書いていくと、市民のみなさんもそのように使っているのかと理解ができて、もっと協力したいという意識もわいてくるのではないかと思う。

(会長) 生ゴミの分別が始まるわけだが、そうするとバイオガスを発生させる方でも廃油がほしいようだ。もう少しそれPRできるような形で何か工夫ができないかということだと思う。

(事務局) 「北広島のかんきょう」の冊子で、その事業内容を簡単に書いているが、これも簡単すぎるという指摘があるので、少し詳細に書くよう努力していきたい。

(以上でその他意見のないことを確認し終了)